# **才**(通信 2023.12.26 第195号

「水通信」は、水資源機構(主に中部管内)における取組に関する情報を、中部管内の関

## 目 次

係者(県、市町村、土地改良区その他関係機関)の皆様方に、直接配信させていただいてお

※目次の事業所名等クリックすると、その事業所等の記事に移動します。各記事の事業所 名をクリックすると目次ページに戻ります。

## ☆<u>【巻頭言</u>】 1頁

ります。

○ 水の争いについて

中部支社事業部次長 末松 義康

## ☆【中部管内水源情報】 1頁

☆インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』 3頁

#### ☆《新着情報》

## 中部支社 5頁

- 中部支社で津波防災訓練を行いました
- 交通安全講習及びハラスメント防止研修を実施しました
- 中部ブロックから推薦された論文が理事長賞を受賞!

## 豊川用水 7頁

- 大島ダムウォークを開催しました
- 福岡地区水道企業団の行政視察がありました
- 表浜海岸クリーンアップ大作戦に参加しました

## 木曽川水系連絡導水路 9頁

- 当建設所スタッフが表彰されました!
- 所内コンプライアンス研修を実施しました

#### 愛知用水 10頁

- 「八百津町産業文化祭」に出展しました
- 交通安全講習会を開催しました

## 木曽川用水 12頁

- 労働安全講習会を開催しました
- 関係利水者及び近隣市町の防災部局と合同で防災訓練を実施しました
- 岐阜高専施設見学会が木曽川大堰で開催されました

## 岩屋ダム 14頁

- 「岩屋ダム周辺景観整備事業」が行われました
- 流木配布を行いました

## 阿木川ダム 15頁

○ メモリアルマーチで阿木川ダム堤体登山を実施しました

## 徳山ダム 16頁

- 実のなる木を植えよう大作戦に参加しました
- 根尾谷地震断層観察館で地震津波防災についての学習を行いました。
- 名古屋市上下水道局のモニターさんが徳山ダムを見学しました
- 設備点検に伴う常用洪水吐きゲートへの振替放流を行いました
- 水質テロ事案対策 合同訓練を行いました
- 国道417号線 冠山峠道路(クラウンロード)が開通しました

#### 長良川河口堰 21頁

○ 環境学習会を開催しました

#### 味噌川ダム 21頁

- 「第24回にっしん市民まつり」に出展しました!
- 木曽駒ヶ岳山頂から眺める、味噌川ダム
- ウォーキングラリー大賞で3連覇!

## 三重用水 23頁

- 環境学習会として水沢浄水場を見学しました
- 船舶運転訓練(中里貯水池)を実施しました

#### ☆【編集後記】 25頁

○ 担当課 中部支社 総務部 経理管財課

## 巻頭言

## ○ 水の争いについて

中部支社事業部次長 末松 義康

2023年も残りわずかとなりました。本年も水資源機構の建設及び管理の各事業につきまして、ご理解ご協力を賜り厚く御礼を申し上げます。

さて、揖斐川の支川根尾川に山口頭首工があります。この山口頭首工では席田用水と真桑 用水が取水しており、取水後は6:4の割合で分流しています。この分流比についてある言 い伝えがあります。

山口頭首工では取水した水をどちらかが多く取るのかについて争いが絶えなかったそうです。何度話し合っても決着がつかなかったため、とうとう燃えさかる火の中に飛び込んで決着しようということになり、猛火に飛び込んだのが席田方だったことから席田方が6に決着したということです。もちろん、分流比は奉行所の調停により決められたものですが、このように命を懸けて水を確保したという言い伝えが存在するのは、水の確保の困難さの現れでしょう。

世界の各地で大渇水が発生しています。国内でも今年の秋以降は少雨となっており、近畿、中国、四国、九州では取水制限の措置が講じられています。近年、中部では幸いにも大きな渇水は発生していませんが、近年は雨の降り方が多いときと少ないときが極端化しており、大渇水のリスクは排除できません。

命に繋がる大切な水を安定して供給するために、今後も必要な対策を講じてまいります。

## 中部管内水源情報

#### 【中部管内水源情報】

中部管内の各ダムにおける12月25日現在の降雨及び利水貯水率については、下表の とおりとなっています。

木曽川水系の4ダム(牧尾・岩屋・阿木川・味噌川ダム)の12月降雨量は平年を上回る状況(平年比117%~127%)となっており、4ダム合計の貯水率は90%(平年比105%)と、平年を上回る貯水状況となっています。

豊川水系の宇連ダム及び大島ダムの12月降雨量は、平年並みの状況(平年比88%~109%)となっており、豊川用水全体(宇連・大島ダム、各調整池)の貯水率は69%(平年比88%)と平年を下回る貯水状況となっています。

中部管内各ダムにおける12月の降雨及び利水貯水率(12月25日現在) 単位:(%)

	牧尾ダム	阿木川ダム	味噌川ダム	岩屋ダム	宇連ダム	大島ダム	中里ダム	徳山ダム
降雨の平年比	127	117	127	121	88	109	65	81
利水貯水率	86. 1	81.3	86. 5	100	57. 2	80. 5	69. 9	100
(平年比)	(119. 2)	(92. 0)	(90.0)	(104. 7)	(77. 9)	(89. 2)	(94. 0)	(100)

・中部支社管内の各ダム貯水状況等は中部支社HP内の「水源情報」でご覧いただけます。

中部支社HP <a href="https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html">https://www.water.go.jp/chubu/chubu/index.html</a>

「水源情報コーナー」

- ◆リアルタイム情報 https://www.water.go.jp/mizu/chubu/realtime/index.html
- ◆中部管内の水源状況(平日更新)https://www.water.go.jp/mizu/chubu/report/
- ◆ダム貯水状況グラフ、節水情報など

https://www.water.go.jp/chubu/chubu/sessuijyouhou05\_1.html



## ブレイクタイム 天気のことわざ

【 大根の根が長い年は寒い 】

・大根が特に温度に敏感な野菜で、土の中に温かさを求めてより深く根を張る性質に由来しています。もちろん、もともと長さがある品種もあるので全てではないでしょう。

## インタビュー『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』

中部支社メールマガジン水通信では、令和3年より新たなコミュニケーションツールとして、水資源開発施設の建設・管理に携わる「人」に焦点を当て、それぞれのスペシャリストにインタビューを行う『水を支えるスペシャリストに聞いてみた』を掲載しています。

今回は、長良川河口堰管理所に現場技術員として勤務する鎌倉さんに、これまでの経験や 業務内容などについてお話を伺いました。



■長良川河口堰をバックに

#### <Profile >

鎌倉 久 Hisashi Kamakura 日本振興株式会社 名古屋支店 (長良川河口堰管理所 勤務) 平成元年 建設会社 入社

平成26年 日本振興株式会社 入社

平成26年 国土交通省 資料作成業務

平成29年 水資源機構長良川河口堰管理所

現場技術業務 現在に至る

## 鎌倉さんのプロフィールについてお聞かせください。

一平成元年より、のり面対策工事専門業で現場監督や斜面対策工の設計に20年ほど従事していました。平成5年頃には、日吉ダム建設事業で水資源開発公団(現水資源機構)とのかかわりもありました。

その後、現在の建設コンサルタント会社に入社し、これまでの業務経験を活かして、平成29年度から、長良川河口堰管理所で現場技術業務に従事しております。

## これまでの業務経験で、良かったことや苦しかったことなどありますか。

一長良川河口堰管理所の業務ではないですが、以前、国土交通省の資料作成業務で工事事務所管内直轄・市町村の管理を含めた橋・道路標識・トンネル・ロックシェイドなどの道路施設約5万件のデータ整理と統合する作業です。市町村の数だけ別々にあるデータを決められた様式にひたすら統合する作業。それがまた、データごとに微妙に異なるため確認し修正するという力わざで、これがすごく苦しかったですね。途中で、確認作業が間違っていたことに気づき、周りの同僚に夜遅くまで修正作業を手伝ってもらったこともありました。この経験を活かし、大量のデータでも、落ち着いて整理することができるようになりました。

## 円滑な業務の遂行のためにどのような点に気を配っているか教えて下さい。

一担当職員さんが、上司に対して説明できる資料作成をするために、よく話すことですかね。 頭の中でいろいろ考えることも大切ですが、声に出して、紙と鉛筆で図形化し視覚化するこ とです。過去の現場の経験を活かして、職員さんと問題の解決のヒントを探っていけるようにすることです。

## どんな時にやりがいを感じますか。

一河口堰にある土木施設での更新整備で、箇所の選定、白紙からの図面・数量計算書の作成をしているときですかね。職員さんと打合せしながら、作り込んでいく過程がやりがいを感じます。

特に新規で整備する施設については、整備方法を考え、部材・部品の規格の選定・考察しながら図面を作成する過程が、大変ですが楽しくもあります。

また、作成した図面の設計から施工までに関与できることもやりがいを感じます。



■作業中の鎌倉さん

# 多忙な職場でストレスもあるかと思いますが、ストレス解消のためにしていることがあれば教えて下さい。

一建設業界に携わっていることから、重厚長大な構造物見学でしょうか。一般参観の行事ですが、黒部ダム完成50周年のイベントで監査廊やキャットウォーク見学に行ったり。明石海峡大橋の端から端まで作業用通路を歩いたり。それら構造物が、どんな知恵と努力で完成したのかを見て感じることがストレス解消にもなり、日々の業務でどうしたらいいのかという視点をもつことに役立っています。だから、河口堰の施設でも一般の人が入れない場所に役得としては入れるときはいつも内心ワクワクしています。あと、帰宅後のちょっと?一杯(何杯)ですね。

#### 最近あったエピソードは?

─10月に黒部ダムのナイトツアーが抽選で当たり、行ってきました。あいにくの雨模様でしたが、堤体高日本一の黒部ダムが緑色に照らし出された姿は昼間と違い幻想的な感じがしました。

#### 最後に今後の抱負を教えてください。

一長良川河口堰管理所での現場技術業務も7年目を向かえます。その間、いろいろな発注に向けた図面作成や、日々の資料作成の業務遂行する中で得た知識や経験を活かし、「わからないことは現場技術員に聞け」と思ってもらえるよう、この業務に取り組んでいきたいと思います。

#### 〈あとがき〉

水資源機構中部支社では、水の安定供給を支える「人」に焦点を当てたインタビューコーナーを今後も特集として掲載していきます。インタビューに応えていただける方を募集しておりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

## 《新着情報》

## 中部支社

## ○ 中部支社で津波防災訓練を行いました

水資源機構では、第5期中期計画において、大規模地震、水インフラの老朽化に伴う大規模な事故、異常渇水等の危機的状況の発生に対して、被害拡大の防止、水の安定供給、施設機能の早期回復に努めるため、実践的な訓練の実施等の取組を進めることとしています。

また、津波防災の日(11月5日)を含めた10月28日から11月12日までの16日間が、中央防災会議が定めた津波防災に関する取組の実施期間となっています。

中部管内においても、長良川河口堰など津波が危機管理上の大きな要素である事務所を多く所管していることから、中部支社では、11月7日(火)に津波に関連する防災意識及び危機管理能力の向上等を図ることを目的に防災訓練を実施しました。

訓練は、職員等46名が参加し、「シェイクアウト訓練」、「避難訓練」及び「津波防災に関する勉強会」を実施しました。更に、非常時の参集経路確認のための「非常参集訓練」を実施しました。

これらの中部支社津波防災訓練を通じて得られた危機管理能力を活かし、実際の津波発生時に適切な対応が行えるよう努めてまいります。



■避難訓練の状況(支社駐車場の避難場所にて)

#### ○ 交通安全講習及びハラスメント防止研修を実施しました

今年度中部支社では、支社に勤務する者全員を対象に交通安全講習及びハラスメント防止研修の動画上映を11月27日(月)、30日(木)、12月1日(金)の3日間実施しました。

内容は、交通安全講習は、「交通事故から守ろう!子供の命(運転手編)」、ハラスメント防止研修として、パワハラ防止の「声を上げないことがハラスメント」、セクハラ防止として「SNSで起きたハラスメント」の合計約40分の動画を視聴し学習しました。

交通安全講習を受けて、横断歩道では歩行者が優先であり、車両は徐行か一旦停止を行う

こと、歩行者が歩いているそばを通行する時は予測 出来ない行動をする場合があるし、あわただしい年 末年始をはじめ公用車や自家用車を運転する時に は十分注意することを受講者一同確認しました。

また、ハラスメント研修では、パワハラやセクハラの映像での研修を受け、後日各課単位でハラスメント防止を含めより良い職場環境の向上について意見交換を行いました。



■講習会の様子

## ○ 中部ブロックから推薦された論文が理事長賞を受賞!

11月10日(金)に「令和5年度中部ブロック技術研究発表会」が行われ、中部ブロックの代表として優秀賞5題が推薦されました。推薦された論文の内、12月5日(火)に本

社で行われた「令和5年度(第57回)水資源機構技術研究発表会」において、豊川用水総合事業部の佐藤さんが発表した「水中調査の新技術であるAUV(小型自律式無人潜水機)を用いた宇連ダムにおける堆砂測量」が理事長賞を受賞しました。

本発表会は、当機構職員が、日常の業務の中で実施した試験・調査・設計・施工等に関する研究や業務上創意工夫した内容を発表・報告するものです。今後も、中部支社及び本社の発表会を通じて職員の技術力の向上・蓄積を図るとともに、自己研鑽の場となるよう努めて参ります。



■理事長賞を受賞した佐藤さん

「令和5年度(第57回)水資源機構技術研究発表会」の結果 【理事長賞】

★ 論文名:「銅山川3ダム連携シミュレータによる洪水対応」 所属、氏名:池田総合管理所 岡本 泰河

★ 論文名:「滝沢ダム放流設備遠隔操作の試行について」 所属、氏名:荒川総合管理所 大崎 愛 ★ 論文名:「監視カメラと動体検知AIシステムを用いた河川巡視の省力化に向けた 取組」

所属、氏名:草木ダム管理所 佐々木 優貴子

★ 論文名:「水中調査の新技術であるAUV(小型自律式無人潜水機)を用いた宇連 ダムにおける堆砂測量」

所属、氏名: 豊川用水総合事業部 佐藤 友孝

## 【特別賞】

★ 論文名: 「SIPにおけるダム群連携最適操作シミュレータの開発」

所属、氏名:総合技術センター 松橋 輝明

★ 論文名:「木津川上流ダム群土砂管理方針における掘削土利活用拡大の取組~木津

川本川への初の土砂環元実施~」

所属、氏名:木津川ダム総合管理所 合屋 祐国

## 豊川用水総合事業部

○ 大島ダムウォークを開催しました

豊川用水の水源である奥三河の大島ダム建設にご協力いただいた方々への感謝の意を込め、また、その水を使用している下流の方々に大島ダム・豊川用水の役割をより理解してもらうため、11月5日(日)に第12回大島ダムウォークを開催しました。

3連休の最終日で天気も優れない中での開催でしたが、多くの方にご参加いただき、水源 地である大島ダムや豊川用水の大切さについて、ご理解いただけたと考えております。

開催にあたり、各方面へ幅広く広報を行ってくださいました各団体の皆様やイベント当日 にご協力いただきました皆様、改めまして感謝申し上げます。



■参加者に水の配布



■ダム堤体内を見学する参加者





## ←オリジナルソング「歩こう」

※オリジナルソング「歩こう!」は水資源機構豊川用 水総合事業部の「X」に投稿しています。

■職員によるコンサートの様子

## ○ 福岡地区水道企業団の行政視察がありました

11月16日(木)に福岡地区水道企業団、議会議員及び監査委員の行政視察が実施されました。

豊川用水の事業の成り立ちや二期事業の内容を説明したところ、流域変更による補償の有無や、併設水路のトンネル工事の現場視察では福岡導水と同規模のトンネル工事であることから、トンネル掘削タイプの違いなど熱心に尋ねられました。

今回の視察が、企業団で実施されている「福岡導水施設地震対策事業」の理解を深めることに繋がると幸甚です。



■概要説明の様子



■現地視察の様子

## ○ 表浜海岸クリーンアップ大作戦に参加しました

11月19日(日)に豊橋市530(ゴミゼロ)運動環境協議会主催の「表浜海岸クリーンアップ大作戦」に参加しました。

爽やかな秋空の下での海岸清掃。海岸美化の一助になれたら幸いです。



■表浜海岸の清掃作業



■清掃活動に参加した面々

## 木曽川水系連絡導水路建設所

#### ○ 当建設所スタッフが表彰されました!

11月27日(月)、当建設所シニアスタッフの林繁樹さんが、一般財団法人日本ダム協会よりダム建設功績者として表彰されました。これまで丹生ダム、徳山ダムの各建設事業において地権者の方々の生活再建関係業務や関係利水者対応業務等を円滑に進め、ダムの建設促進に大きく貢献されたことが表彰理由です。

現在、林さんは引き続き用地関連業務に従事され、職員へ助言等行っていただいておりますが、これからも健康に留意され、経験を生かしてその知見を職員に伝授いただけることを期待しております。



■ダム建設功績者表彰式における林さん

## ○ 所内コンプライアンス研修を実施しました

12月6日(水)、所内職員等のコンプライアンス意識の向上等を推進する一環として、所内コンプライアンス研修を実施しました。今回は独占禁止法を題材にしたビデオ教材を視聴しました。

本教材は主に独占禁止法の基本原則を企業の行動に焦点を当てつつ簡易に解説したものですが、受講した職員は発注者側として公正な競争環境の創出の重要性を再認識していました。

## 愛知用水総合管理所

## ○ 「八百津町産業文化祭」に出展しました

11月11日(土)・12日(日)に開催された「八百津町産業文化祭」に出展しました。このイベントは、愛知用水の兼山取水口がある岐阜県八百津町が毎年この時期に開催するもので、地元で作られる商工業生産品の展示・農産物の販売のほか、楽しいステージイベントもある秋のビックイベントです。

水資源機構は愛知用水と木曽川用水による 共同出展をしており、今回は事業概要のパネ ル展示と『水の自由研究と木工工作』と題し て、「水の重さあてゲーム」と間伐材を利用 した「コースター作り」を行いました。「水



■出展ブース前の様子

の重さあてゲーム」では、バケツの水をボールに注ぎ、802g(やおつにちなんで)に 近かった方に景品を進呈しました。老若男女が簡単に参加できるゲームで大いに盛り上が りました。また、「コースター作り」では、白樺を輪切りにした材料に思い思いに絵を描い たり、シールを貼ったりしてマイコースターを作って持ち帰ってもらいました。

水資源機構のブースには、2日間で約400名の方が訪れ、各々楽しんで頂けたかとは思います。しかし、パネルを利用した事業のPRについてはなかなか見てもらうのが難しく、今後の課題となりましたが、機構のブースに来ていただいた方々へは、参加賞として『水資源機構』のロゴが入ったシャープペンシルを配布して、わずかではありますが水資源機構の知名度アップに繋がったと思います。

八百津町調べでは、今回の2日間のイベントの来場者は約2万人(八百津町の人口の2倍)とのことで、今後もこのイベントを通じて水資源機構としても事業のPR、知名度アップの絶好の機会と捉え、積極的に参加していきます。



■水の重さあてクイズの様子



■コースター作りの様子

## ○ 交通安全講習会を開催しました

愛知用水総合管理所の所在地を管轄する愛知県愛知警察署交通課の 方を講師としてお招きし、12月5日(火)に安全運転講習会を開催し ました。



自動車運転に関する講習は、10月にNEXCO中日本による高速道

路に特化した高速道路交通安全セミナーを開催しており、今年度2回目の開催となります。 警察車両運転の際は、同乗者がいる場合は後進時は同乗者が降車して安全確認を行っていることや、その際の安全確認は後方だけではなく前方や左右、パトライトがあるため上方も確認していること、様々な車両を運転することから、運転席に車両の高さや幅を表示したシールを貼っていることなどの事故防止のための取組の紹介がありました。また、コンビニな



■講習会の様子

どに駐車する際は、発進時の事故防止のためバック駐車を行うことの勧めもありました。

最後に「安全運転に近道なし」、「だろう 運転、かもしれない運転はやめて、防衛運 転を心がけてください。」との言葉がありま した。

過信・慢心が生まれないよう講習会の開催や日頃の啓発活動により、安全運転を心がけてまいります。

## 木曽川用水総合管理所

## ○ 労働安全講習会を開催しました

10月25日(水)、「労働安全講習会」を木曽川用水総合管理所で開催しました。



講習会は、当管理所における安全協議会の一環として、木曽川用水職 員及び機構が発注している受注者の労働安全意識の向上を図るため実施し、出席者は61名 (web視聴を含む)でした。

講習会には、厚生労働省津島労働基準監督署安全衛生課の早野課長にお越しいただき、労働安全に関する『建設業における安全管理 マネジメントの視点 プロセスの視点』というテーマで、災害が起きてから対処するのではなく、あらかじめ、仕事のプロセスを網羅的に抽出・危険度の分析を行い仕事を可視化することにより、危険予知・品質向上につながるという内容でした。また、労働安全衛生規則の改正にともない、足場からの墜落防止措置の強化等についても説明がありました。



■講習会の様子

昨年度からスタートした木曽川用水濃尾 第二施設改築事業は、今年度より管水路及び 揚水機場の工事が実施されます。管理・建設 を問わず、事故等がなく、無事事業が進むよ う精進していきたいと思います。

## ○ 関係利水者及び近隣市町の防災部局と合同で防災訓練を実施しました

10月27日(金)、水機構の備蓄資機材として木曽川用水に配置している可搬式ポンプの操作訓練を実施しました。

本訓練は職員の操作技能の向上を図るとともに、防災に係わる地域連携を強化することを 目的としており、関係利水者及び近隣市町の防災部局と合同で総勢24名により実施しました。

はじめに、水機構が所有する備蓄資器材の確認及び利用手続き、可搬式ポンプの構成及び 設置方法等について説明し関係者との情報共有を行いました。

その後、木曽川大堰左岸で、発動発電機、操作盤、ポンプの接続及び操作について参加者 全員が実働に参加できるよう4班に分けてポンプ稼働までの一連の実技を習得しました。 今後も、操作技能の向上のみならず、地域連携及びリスクコミニュケーションに対する意 識向上を図るため、引き続き本訓練を実施していきたいと考えております。



■訓練概要説明の様子



■可搬式ポンプ訓練の様子

## ○ 岐阜高専施設見学会が木曽川大堰で開催されました

11日16日(木)、岐阜工業高等専門学校環境都市工学科の2年生39名(学科長1名随行)が木曽川用水総合管理所を訪れ、施設見学をしました。

この施設見学会は、水資源に関する授業の一環として、木曽川用水施設を見学されたものです。

最初に木曽川用水事業の概要、学生が今後学習する「水理学」を応用している施設事例を 座学として学習してもらいました。その後、2班に分かれ、操作室の見学、座学で説明した 水理学を応用している施設(木曽川大堰、静水池の流量規制ゲート)を実際に見学してもら いました。

見学会に参加された学生の皆さんには、今後「水理学」を学習する際に、用水施設において実際に水理学が応用されているということを思い出して、学習に生かしていただけることを期待しています。



■木曽川用水事業概要座学の様子



■木曽川大堰見学の様子

## 岩屋ダム管理所

## ○ 「岩屋ダム周辺景観整備事業」が行われました

10月23日(月)、毎年11月に見頃を迎える岩屋ダム周辺の紅葉を行楽で訪れる方に楽しんでいただくため、岩屋ダム水源地域ビジョン推進協議会による支障木の伐木及び草刈りが実施しました。

この景観整備事業を実施することで、ダム周辺の景観を損なっていた雑木等が取り除かれ、対岸の景色まで見渡せるようになりました。今後も観光客の皆様に岩屋ダム周辺の景色を楽しんで頂けるよう、環境維持に努めてまいります。



■伐採前の様子



■伐採後の様子

#### ○ 流木配布を行いました

10月28日(土)、岩屋ダム管理所から上流約4キロの地点で流木配布を行いました。この活動は、大雨や台風によりダム湖に流れ込んだ流木を集め、長さ30センチ程度にカットしたものを、事前に申込みをされた方に配布するものです。配布した流木は、冬場の薪ストーブの燃料等として利用され、地域のみなさまに有効に活用されています。



■配布用の流木

## 阿木川ダム管理所

## ○ メモリアルマーチで阿木川ダム堤体登山を実施しました

11月3日(金)に、遊び心を大切にする住民団体「石畳グループ」と中日新聞などが主催するメモリアルマーチが開催されました。このメモリアルマーチは、ダム湖湛水前の平成元年に開催した「ダム湖底ウォーキング」に由来するイベントで、恵那市役所から岩村駅までの13Kmを歩くものです。

この日に限りコースに組み込まれた阿木川ダムの堤体 を登頂することが出来ることから本イベントは人気があ り、毎年参加していると言う方も多数いらっしゃいまし た。



■ダム堤体登山の様子

阿木川ダム管理所では、登頂参加者の安全確保を第一優先に掲げ、前日より浮き石を除去 したり、安全ルートの設定や案内誘導看板を設置するなどの準備を行いました。



■登頂者に記念グッズ配布の様子

当日は、快晴の爽やかな天候のもと、約250名もの方が参加され、阿木川ダム管理所では堤体や分岐地点に人員を配置し安全誘導と応援の声かけを行うとともに、見事登頂された方には登頂証明書・ダムカード・記念缶バッチ・パンフを配布し、堤体上には水

資源機構と阿木川ダムの PR パネルやポスターを配置して広報を行いました。

このイベントには、ご家族や仲

間と参加されたり、91歳のご高齢の方や明智鉄道と縁が深い愛知県半田市の鉄道少年団など、年齢性別を問わず大変幅広い方々が汗を流しました。

阿木川ダムでは、こうしたイベントを有効に活用し 広く広報 P R を継続していきます。



■グループ参加の人々 上丸中:缶バッチをつけた人

## 徳山ダム管理所

## ○ 実のなる木を植えよう大作戦に参加しました

11月3日(金・祝)に特定非営利活動法人揖斐自然環境レンジャー、揖斐川町(生命の水と森の活動センター)及び揖斐川中部漁業協同組合の主催による、徳山ダムの上流にあるコア山(ダムを造るための材料を採取した山)で一般参加ボランティア56名による植樹活動が行われ、徳山ダム管理所職員も参加しました。

当日朝の気温は10℃位で少し肌寒いと感じるく らいでしたが、船に乗りコア山に到着してからは1 1月上旬とは思えないほどの陽気で、参加者のみな さまは心地よい汗をかきながら作業に専念されていました。



■植樹後の集合写真

苗木を植えるための穴を掘り、苗木をコア山に移し、苗木の栄養のお布団である腐葉土を根元にたっぷりとかけて、しっかりと成長するまでの間の葉と枝の部分を動物から守るために、トウモロコシが原料の害獣カバーで覆って、固形肥料をセットして完成です。

植樹後は、徳山ダム下流にある水と森の学習館で徳山ダム管理所長による徳山ダムとその周辺環境などの説明をし、未来の植樹活動のための種まきを行いました。

この活動は今回で23回目となり、徳山ダム周辺の植樹に来るたびに苗木の成長を感じられます。



■植樹の様子



■害獣カバー設置の様子

## ○ 根尾谷地震断層観察館で地震津波防災についての学習を行いました

津波防災訓練の一環で、11月7日(火)、9日(木)、10日(金)の3日間に分けて、職員19名が岐阜県本巣市にある根尾谷地震断層観察館・地震体験館で防災学習を行いました。

根尾谷断層は、明治24年(1891年)に起きた濃尾地震(マグニチュード8.0)の際に生じた 断層で、上下の変位が約6メートルにも及ぶことから、学術的な価値が高く、国の特別天然 記念物にも指定され、世界的にも有名な断層です。

その断層を間近に観察して、地震体験館で濃尾地震を疑似体験することで、その地震の規模に驚かされると同時に、地震や災害はいつ起こるかわからないので日頃からの備えが大事だと再認識しました。

ダム管理においても、地域に生活されている方の生命や財産を守るという使命をまっとう するべく、日々の業務を行っております。



■根尾谷地震断層観察館



■根尾谷地震断層

#### ○ 名古屋市上下水道局のモニターさんが徳山ダムを見学しました

11月13日(月)、名古屋市上下水道局のモニターさん約40名が徳山ダムを見学されました。

ダムサイト公園での徳山ダムの地形や気候、地域の説明から始まり、ダム設備の説明、実際に堤体の内部に入り、利水放流管ゲート室と監査廊の見学を行ったあと、ダム周辺を自由散策いただきました。

当日はあいにくの雨模様でしたが、参加者のみなさまは職員の説明を熱心に聴きいってくださり、ダムに関する多くの質問がありました。

実際に水源地域に足を運び、徳山ダム及び水資源機構の業務を知っていただけたことは、 職員としてとても嬉しく思います。



■徳山ダムサイト公園での説明の様子



■洪水吐きの説明の様子

## ○ 設備点検に伴う常用洪水吐きゲートへの振替放流を行いました

徳山ダムでは設備の施設点検に伴い、選択取水設備 からの取水を停止するため、11月13日(月)午後か ら11月22日(水)夕方頃まで、常用洪水吐きゲート から振替放流を行いました。

通常、水で満たされている放流管の水を抜いた後に 放流管の中に入り、様々な点検を行いました。

写真は点検を行っている様子ですが、放流管の中は 照明設備がありませんので、暗闇の中で手元明かりを 使って利水放流管ゲートの状態確認を行いました。





## ○ 水質テロ事案対策 合同訓練を行いました

11月15日(水)徳山ダムでは、不審者が毒物を貯水池に撒いたことを想定した水質テロ事案対応訓練を警察、消防、徳山ダム管理所により合同で実施しました。

訓練では、ダム管理所職員から通報を受けた警察官が、逃走する不審者を確保し、身体 捜検、事情聴取、毒物の回収と搬送をした後、 消防による貯水池の中和作業を行い、迅速か つ密接な連携対応を相互に確認しました。

日頃よりこうした訓練を行うことで、緊急 事態に慌てず冷静に対処することが出来るよ うに備えます。



■現場指揮本部設置の様子



■不審者確保の様子



■毒物回収の様子

## ○ 国道417号線 冠山峠道路(クラウンロード)が開通しました

11月19日(日)17時に国道4 17号線 冠山峠道路(通称 クラウンロード)が開通しました。約15年の工事期間を経て、徳山ダム湖の一番奥から福井県池田町に直接繋がりました。

これまで揖斐川町から福井県池田町までは、高速道路を利用して約15 1kmを約2時間29分要していましたが、これからは約65kmを約1時間25分でアクセスできます。

新しい道路の開通の影響で交通量 が一気に増えて、徳山ダムを訪れるお 客様も例年の同時期と比べ約2倍に 増えています。

福井県と岐阜県がグッと近くなって、様々な交流が増えることを期待しています。



■ダムサイト公園駐車場の様子



■管理所入り口に設置した記念看板



## ブレイクタイム 四字熟語

## 【 孟母三遷 】(もうぼさんせん)

・孟子の母が子の教育のために三度住居を変えたことから、 子の教育には環境が大切であるということ。

## 長良川河口堰管理所

## ○ 環境学習会を開催しました

11月15日(火)、長良川河口堰管理所において「沈性卵用ふ化装置を用いたアユの人工ふ化事業について」と題し、環境学習会を行いました。

当日は、アユの人工ふ化放流事業を実施する漁業者の作業負担を軽減するための研究を進めている岐阜県水産研究所より講師をお招きし、アユの生態を含めて人工ふ化事業について講義を行っていただきました。

その後、ふ化装置が設置されている河口堰右岸の溢流堤に移動し、稼働しているふ化装置 を見学させていただき、当該事業への理解を深めることができました。

今回は、人工的なアユのふ化について触れ、漁業者、水産研究所の取り組みを知るとても 良い経験となりました。



■真剣に聞き入っています



■ふ化装置で成長中のアユの卵

## 味噌川ダム管理所

#### ○ 「第24回にっしん市民まつり」に出展しました!

11月19日(日)、愛知県日進市にて「第24回にっしん市民まつり」が開催され、昨年に続き味噌川ダム管理所もブースを設けさせていただき、PR活動を行いました。パネルを用いた事業説明のほか、味噌川ダムクイズ(回答した方に先着順でオリジナルコースター又は缶バッジをプレゼント)や奥木曽湖から回収した流木の一般配布等を実施し、昨年よりも多くの方にご訪問いただき、味噌川ダムについて興味を持っていただきました。



■展示ブースの様子



■流木配布の様子

## ○ 木曽駒ヶ岳山頂から眺める味噌川ダム

味噌川ダムでは、晴天時に中央アルプス最高峰の木曽駒ヶ岳(標高2,956m)を堤体から眺める事ができますが、反対に木曽駒ヶ岳山頂からも味噌川ダムの堤体を眺める事ができると考え、10月下旬に職員1名が自ら木曽駒ヶ岳の登山に挑みました。天候に若干不安はありましたが、山頂に到着する頃には天気が回復し、ようやく山頂から味噌川ダム堤体を眺める事ができました。既に今年の登山シーズンは終わりを迎えていますが、来年度に木曽駒ヶ岳登山を予定されている方がおられましたら、ぜひ味噌川ダム堤体を探してみてください。(方角としては、木曽駒ヶ岳山頂から見れば大体北西の位置にございます。)



■山頂から見た味噌川ダム



■上空から見た味噌川ダム

## ○ ウォーキングラリー大賞で3連覇!

味噌川ダムの地元、木祖村独自のスマートフォン向け健康アプリ「えってこ」のアプリ内に 搭載されている歩数計を用いて歩数をランキング形式で競い合う「第3回ウォーキングラリ

一大賞」が $9\sim10$ 月にかけて村内外から 108人が参加して開催されました。

今年は味噌川ダム管理所から数名の職員が個人部門で参加しました。またチーム部門でも「味噌川ダム管理所」の名前で参加し、他チームと平均歩数を競いました。約2ヶ月間に渡って参加者が奮闘し、チーム部門では一昨年・昨年に続けて優勝を飾り、見事3連覇達成!また個人部門でも当管理所職員の小川さん(施設班)が見事1位に輝き、木祖の奥原秀一村長より表彰状が授与されました。



■村長から賞状を受ける小川さん

## 三重用水管理所

#### ○ 環境学習会として水沢浄水場を見学しました

10月18日(水) 三重用水では環境学習会として、利水者施設である三重県企業庁水沢 浄水場の見学をさせていただきました。浄水場において、水質や浄化の過程を簡易的な実験 を用いてわかりやすく説明していただき、三重用水の管理する水がどのようにして水道水と なっていくのかを知ることができました。また、利水者からの視点での管理上の注意点等も 学ぶことができ、三重用水を管理運営するものとして非常に参考になりました。

今後も、利水者とともに北勢地域の水が安心安全で良質な水であるように努めてまいります。



■実験の様子



■現地見学

## ○ 船舶運転訓練(中里貯水池)を実施しました

11月30日(水)に中里貯水池で船舶運転訓練を行いました。この訓練では、船舶の操縦方法の確認とともに、インクライン(船を貯水池へ運ぶ装置)の操作、信号赤煙の発煙実習、またライフジャケットの仕組みの再確認を行いました。

特に発煙筒、ライフジャケットは、普段の生活では使うことがなかったので、実際に使用してみることで、仕組みや使用上の注意点をより正確に理解し、職員が安全運行できる技術を身に付ける有意義なものとなりました。



■船舶運転の様子



■ライフジャケットの解説の様子



渋沢 栄一

ブレイクタイム 名言、格言

## 【 渋沢 栄一 】

・事業は信用が第一である。 世間の信用を得るには、世間を信用することだ。 個人も同じである。

自分が相手を疑いながら、自分を信用せよとは虫のいい話しだ。

## 編集後記

【担当課:中部支社 総務部 経理管財課】

令和5年も早いことで師走となりました。コロナ禍もおさまりつつある昨今、気軽に旅行へ行ける日常となったことから、12月2日(土)から一泊二日で京都へ行き、永観堂(禅林寺)で紅葉狩りをしました。紅葉には少し遅い時期でしたが、散り際の赤い絨毯一面広がるとても美しい光景が広がっていました。

赤や黄色に色づいた「イロハモミジ」や「オオモミジ」など約3千本が、850基のライトに優しく照らされてとても幻想的な風景を味わう貴重な経験が出来たと共に、紅葉狩りに訪れた観光客の数に圧倒され、京都をはじめとした観光地に再び活気が戻ったことをとても嬉しく感じた旅になりました。

最後になりますが、皆様にとって令和6年がよい年でありますように。



■永観堂の紅葉

-----

今月の水通信はいかがでしたでしょうか。

「水通信」に対して、ご要望、ご意見等がございましたら、下記アドレスまでご連絡ください。

mailto: chubu\_water@water.go.jp

\*\*\*『第196号は、2月下旬に発行する予定です。』\*\*\* バックナンバーをご覧になりたい方はこちら

https://www.water.go.jp/chubu/chubu/mizutsuushin/mizutsuushin.html

☆中部管内事業所のホームページアドレスは、以下のとおりです

中部支社: https://www.water.go.jp/chubu/chubu/ 豊川用水総合事業部: https://www.water.go.jp/chubu/toyokawa/ https://www.water.go.jp/chubu/kisodo/ 木曽川水系連絡導水路建設所: 愛知用水総合管理所: https://www.water.go.jp/chubu/aityosui/ 木曽川用水総合管理所: https://www.water.go.jp/chubu/kisogawa/ 岩屋ダム管理所: https://www.water.go.jp/chubu/iwaya/ 阿木川ダム管理所: https://www.water.go.jp/chubu/agigawa/ 徳山ダム管理所: https://www.water.go.jp/chubu/tokuyama/ 長良川河口堰管理所: https://www.water.go.jp/chubu/nagara/ 味噌川ダム管理所: https://www.water.go.jp/chubu/misogawa/ 三重用水管理所: https://www.water.go.jp/chubu/mieyosui/

発行者:水資源機構中部支社